

受理番号	受理年月日	件名及び要旨	提出者	送付委員会名
6年 第13号	6.7.1	<p>母が中国で不当に逮捕されている件に関する陳情</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 人道的な立場から、不当な扱いを受けている母の境遇に関心を持ってもらい、一刻も早く救出すべく、駐日中国大使館（03-3403-3388）、在中国日本国大使館（010 8531 9800）及び日本の外務省（03-3580-3311）に働きかけてほしい。</li> <li>2 国に母の「早期救出を求める意見書」を提出してほしい。</li> </ol> <p>理由</p> <p>母は（60代）で、（中華人民共和国A市）に住んでいる。2024年4月11日に、母が友達の家でいた際、法輪功を修煉していることを理由に現地の警察に押し入れられ、強制連行され、現在宝鶏市第二留置場（電話：86-917-3572694）に拘束されている。</p> <p>元々体が弱い母は34歳（私は5歳）の時、病院で心室性期外収縮と診断され、多くの医学専門家に診てもらったが、改善しなかった。1998年に、父の同僚に法輪功を紹介され、「真、善、忍」の教えに関心した母は法輪功を始めた。幸運なことに母は奇跡的に快復しただけでなく、その後二十数年に渡り、一度も病院に行くことなく、健康を維持してきた。</p> <p>しかし、1999年7月20日、当時の国家指導者、江沢民は、嫉妬心から法輪功への残忍な迫害を開始した。拷問迫害による死亡者は、身元が確認できた人数だけでも5,000人以上に達しており、実際の人数は統計することすらできないと言われている。2023年、陝西省では、少なくとも215人の法輪功学習者が迫害を受けている。そのうち、2人が死亡し、63人が不法に収容され、13人が不法に逮捕され、12人が不法に裁判にかけられ、47人が不法に家宅捜索され、63人が嫌がらせを受け、4人が放浪生活を余儀なくされ、1人が精神病院に収容されている。また、大連市長であった薄熙来は法輪功学習者から生きたまま臓器摘出を行うことを考え、それを瞬く間に全国に広め、臓器摘出から遺体の販売まで一貫して行う殺人産業を形成し、地球上にかつてない邪悪を造り出した。</p> <p>中国共産党政府の血に染まった手によって、健康体となった母から臓器が収奪される可能性さえある。そして母が一日でも長く拘留されれば、その分拷問に遭うリスクも高くなる。</p> <p>私は母と一緒に法輪功を修煉していたため、もし日本から中国に帰れば、飛行機</p>	個人	総務企画

受理番号	受理年月日	件 名 及 び 要 旨	提 出 者	送 付 委員会名
		から降りた途端に逮捕される恐れがある。そのため、この10年間、親族が亡くなった時も中国に帰ることができなかった。母の不法逮捕によって、悲しみと不安と無力感に苛まれている私に、どうか力を貸してほしい。		